



青木の風

生きる 創る そして輝く

学校だより 4月号

令和5年4月7日

横浜市立青木小学校

伝統の「生きる 創る そして輝く」

校長 後明 好美

春を迎え桜の花びらが舞い散る校舎に、新学年に進級した子どもたちの元気な声が響いています。令和5年度がスタートしました。今年度より青木小学校の校長として着任いたしました、後明好美（ごみょう よしみ）と申します。「生きる 創る そして輝く」の教育理念のもと、創立150周年という輝かしい節目のときを迎えた本年度、地域、保護者の皆様と御一緒に子どもの育ちを見守り支える青木小学校の校風を受け継ぎ、子どもたち、地域、保護者の皆様のために精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。私事ではありますが、平成19年度より5年間、この青木小学校に教諭として勤務していました。大好きな学校に戻ってきたことをとてもうれしく感じるとともに、伝統ある学校に校長として再び着任した責任の重さに身の引き締まる思いでいます。

保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学・御進級、おめでとうございます。本日、140名の新入生を迎え、全校児童が764名となりました。子どもたちがこの学び舎に安心して集い、友達や多くの人との関わりの中で学び合い、共感し合い、自分の成長を実感できる学校生活を送れるようにしたいと思っております。

他校にはない 教育理念

タイトルでもある「生きる 創る そして輝く」を本校では教育理念ととらえていますが、この教育理念は他校にはあまり見られないものであり、私が勤務していた以前より本校では大切にできています。各フレーズには

「生きる 創る そして輝く」		
生きる	創る	輝く
自分を生きる	自分を創る	自己実現
共に生きる	生活を創る	

右の言葉が添えられており、そこからは、子どもたち一人ひとりが自分らしく・精一杯学んだり活動したりする姿、友達や周りの大人と協働的に励まし合ったり知恵を出し合ったりする姿、そして学校生活や自分の毎日を自分らしく創造していく姿が思い浮かびます。そしてそのような素敵な姿を見せるこの学校の風土を「青木の風」と市内外の方々は表現してくださっているのだととらえています。一人ひとりの輝かしい自己実現のために、人の思いを感じ、相手を思いやる心情を養うことを基盤に、「わたしもできる、もっとやりたい」という気持ちになれる 感動のある授業づくりに励みます。さらに、子どもたちが自分らしさを発揮して、互いに認め合い、励まし合いながら学校生活そのものを創造していくことのできる集団づくりに取り組んでまいります。

最後に、この春、本校を離任された永野校長先生はじめ、16名の教職員の皆様に感謝を申し上げます。青木小学校の子どもたちのために、長きにわたり熱心に御指導、御支援をいただき、本当にありがとうございました。子どもたちは、本校をつくり上げてきた教職員の思いと地域の皆様の温かい愛情をしっかりと感じ、やさしく、そしてたくましく育っていきます。新しく青木小学校の一員になった教職員も力を合わせて、まちを愛する子どもの育成をめざして努力してまいりますので、引き続き御理解と御支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。